

---

# 台東デザイナーズビレッジの設置について

## —皮革関連産業施策として—

台東区産業部経営支援課

---

台東区では、皮革関連産業をはじめとする地場産業の活性化を図るため、今年4月、閉校した小学校の校舎を改修して、ファッション関連のデザイナーのための創業支援施設「台東デザイナーズビレッジ」を開設する。

### 1、台東区の地場産業の現状

台東区には、靴などの革製履物の製造業の事業所が299社あり、これは東京都の44%、全国の32%を占めている。出荷額等は41,593,810,000円で、東京都の41%、全国の15%を占めており、革製履物製造業の一大産地を形成している。(平成12年工業統計調査)

しかし、10年前の平成2年と比較すると、事業所数は17%、出荷額等も22%減少している。

これは近年の消費の低迷に加えて、海外からの安価な輸入品が増え、台東区の革製履物製造業に影響を及ぼしたことが要因と考えられる。

### 2、デザイナーズビレッジ設置の目的

このような状況の下、台東区の皮革関連産業をはじめとするファッション関連産業を活性化させるためには、各企業が下請け企業から自主企画による付加価値の高い差別化製品を生産することが求められている。

しかし、これまで接点の少なかったデザイナーと接触し、企画・デザインの委託先を見出すことは容易ではなく、地場産業企業が商品開発・デザインのアウトソーシングを支援するためのソフト機能を集積した拠点を整備することが必要となってくる。

そこで、デザイナーに事務所等の創作活動ができる場を提供するとともに、その活動をサポートすることにより、デザイン分野の人材と機能を集積させ、創造的なモノを生み出す拠点とするため、デザイナーの創業支援施設（インキュベーション施設）として台東デザイナーズビレッジを設置するものである。

### 3、施設のコンセプトと基本的性格

「人、情報が集まり、新しいモノを創出する創造の拠点」をコンセプトとし、入居するデザイナーを核として、製造業者、流通業者、消費者、研究者が集まり、さまざまな情報交換を行い交流することにより、高いクリエーション機能を発揮して、新しいモノを生み出す創造の拠点とする。

施設の基本的性格としては、

①デザイナーの創業支援施設（インキュベーション施設）として、低額で利用できる事務所や制作室・展示室など、創作・制作活動に必要な場所を提供するとともに、経営、マーケティング、営業、ネットワーク作りなど様々な支援を行い、デザイナー

の創業を支援する。

② 地域産業の企業が商品開発やマーケティング活動等を行う上で有効な機能を提供する。企業はデザイナーとの接触が容易となり、商品企画やデザインを委託しやすくなるとともに、企業とデザイナーが連携して商品開発を行うことが可能となる。

③ 人（デザイナー・メーカー・流通業者・消費者・研究者等）と情報が集まり、交流する場とし、多様で幅広いクリエイション機能を発揮する。

#### 4、施設の概要

##### (1) 所在地

台東区小島二丁目9番10号（旧小島小学校校舎）

##### (2) 建物・面積

鉄筋コンクリート構造3階建て（内1、2階部分を使用）  
敷地面積3,144㎡、延床面積2,356㎡

##### (3) 施設内容

- ① 賃貸事務所（面積約20～40㎡程度）
- ② 共用施設として制作室、展示室、商談室、交流室、図書室、資材室、会議室等がある。

また駐車場、コピー室、給湯室、トイレ等の付帯設備あり。

#### 5、入居者について

##### (1) 入居資格

靴、鞆、バッグ、ベルト、帽子、アクセサリ、ジュエリー、アパレル等のファッション産業及びその関連産業に携わる業種を中心としたデザイナー等で、創業を予定しているまたは創業5年以内の企業または個人。

##### (2) 入居期間

3年間（ただし2年に限り延長可）

##### (3) 入居予定者数

選考により18社を決定した（16年3月現在）。入居者の業種は皮革関連6社、アクセサリ・ジュエリー3社、アパレル4社、その他5社。

##### (4) 入居者への支援

インキュベーションマネージャー（村長）を常駐させ、入居者の成長・自立を直接的に支援する。中小企業診断士や税理士等による専門相談、地元金融機関の協力を得て開業に必要な資金の融資相談などを行う。

また、入居者と地元関連企業との連携を図り、新たな製品づくりに取り組むとともに、同じ建物（旧小島小学校校舎）に入居している早稲田大学、東京藝術大学などの大学や都立皮革技術センター・産業技術研究所等の研究機関との産学公の交流を促進する。

さらに入居者と地域住民との交流を深めるため、手作り教室や入居者の作品展示会などのイベント等を企画する。

